

地震・津波災害について ①

地震への備え

地震は突然起こります。家族の安全と被害を最小限に食い止めるためにも日頃からの安全対策等の準備が必要です。家族で防災について話し合い、災害から身を守りましょう。

わが家の耐震診断

- ✓家の間取りから、水まわり、ガスの位置、電気のブレーカー、家具の位置をチェックする。
- ✓家屋の耐震診断は専門家に相談し、補強等を実施する。



燃えやすいものを置かない

- ✓二次災害を防ぐため、台所のガス台付近、ストーブのまわりなど、火元となる場所に燃えやすい物を置かない。



高い所に重い物を置かない

- ✓地震時の落下によるケガの原因になるので、家具の上にテレビなどの重い物を置かない。



家族で話し合い

- ✓家族の役割分担や、途中で家族が離ればなれになった場合の集合場所も決めておきましょう。



✓屋外の地震対策

家族の安全と被害を最小限に抑えるためにも、日頃から自宅の安全対策について点検しておきましょう。住宅の耐震性に不安がある場合は耐震診断*を行い、補強等を実施しましょう。

屋根・アンテナ



屋根のひび割れ、すれ、はがれなどがいないか確認しましょう。アンテナはしっかりと固定しましょう。

窓ガラス

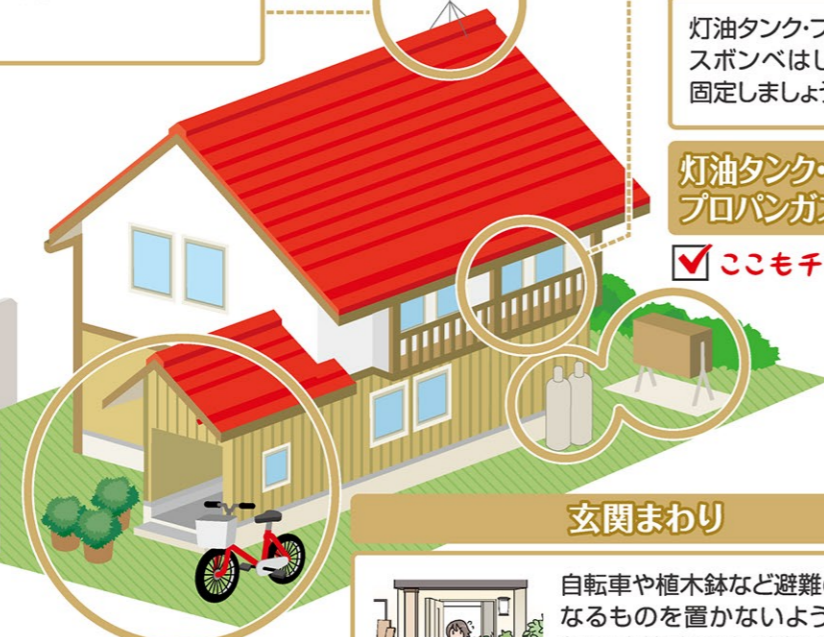
ガラス飛散防止フィルムを貼りましょう。カーテンもガラス飛散防止対策になります。

灯油タンク・プロパンガスボンベはしっかりと固定しましょう。

灯油タンク・プロパンガスボンベ

✓ここもチェック!

フェンスやブロック塀のひび割れ・破損・ぐらつきはないか、特に通学路・避難路に面している所はしっかりと補強しましょう。



✓ここもチェック!

フェンス・ブロック塀

*1981(昭和56)年5月31日以前に建てられた住宅は耐震性が低いおそれがあります。

玄関まわり



自転車や植木鉢など避難の支障となるものを置かないようにし、古新聞・古雑誌など、引火しやすいものを屋外に放置しないようにしましょう。

地震の震度(気象庁震度階級)

震度4以上の揺れが予想された場合、全国瞬時警報システム(Jアラート)により防災行政無線で緊急地震速報が流れます。

<p>震度 1</p> <p>屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。</p>	<p>震度 2</p> <p>屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の中には目を覚ます人もいる。</p>	<p>震度 3</p> <p>屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる。眠っている人の大半が目覚ます。</p>
<p>震度 4</p> <p>歩いている人のほとんどが揺れを感じ、眠っている人のほとんどが目覚ます。電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。</p>	<p>震度 5弱</p> <p>大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。</p>	<p>震度 5強</p> <p>物につかまらなると歩くことが難しい。補強されていないブロック塀が崩れることがある。</p>
<p>震度 6弱</p> <p>立っていることが困難になる。固定していない家具が移動し倒れたり、ドアが開かなくなることがある。</p>	<p>震度 6強</p> <p>はわないと動くことができない。破損・落下する建物が多くなる。大規模な地すべりや、山体崩壊が発生することがある。</p>	<p>震度 7</p> <p>揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。耐震性の低い建物は、傾くものや倒れるものが増える。</p>

✓室内の安全対策

地震時のケガの原因は家具などの転倒によるものも多く、室内の散乱は逃げ遅れてしまう原因にもつながります。家具の配置や固定具合を見直し、室内の安全対策に努めましょう。

家具を配置する時は、出入口や就寝位置と重ならないようにしましょう。

× 転倒方向で寝ない
× 転倒で避難路をふさがない

家具の上には、割れやすい物を置かないようにしましょう。

留め金具
家具は金具などで固定し、扉にガラスが使われている場合は、飛散防止フィルムや留め金具をつけましょう。

支え棒
背の高い家具や本棚は、L型金具や支え棒などで固定し、重い物を下に、軽い物を上に収納しましょう。

カーテン・カーペット・寝具などは、防災加工されたものを使用しましょう。

家具や本棚の下に転倒防止のシートを置き、壁にもたせ気味に配置しましょう。

<p>冷蔵庫</p> <p>冷蔵庫ストッパーを用いて冷蔵庫の天板、または側板と壁をベルトで固定しましょう。</p>	<p>テレビ・パソコン</p> <p>できるだけ低い位置に置き、金具や耐震マットなどで固定しましょう。</p>	<p>暖房機器</p> <p>耐震自動消火装置付のものを選び、周囲に燃えやすい物を置かないようにしましょう。</p>	<p>照明器具</p> <p>チェーンと金具で止める。蛍光灯は耐熱テープで止める。</p>
--	--	---	--

鳥瞰図
地震・津波災害
風水害・土砂災害
災害時の避難行動
災害情報の受信
その他の災害
日頃からの備え
非常持ち出し品
自主防災活動
応急処置
地区別避難所
洪水マップ
津波マップ

鳥瞰図
地震・津波災害
風水害・土砂災害
災害時の避難行動
災害情報の受信
その他の災害
日頃からの備え
非常持ち出し品
自主防災活動
応急処置
地区別避難所
洪水マップ
津波マップ